

ふくい新試験研究炉利活用促進研究会 の設立について

令和7年3月13日

福井県

ふくい新試験研究炉利活用促進研究会の概要

目的

- ・ 新試験研究炉に関する情報提供、中性子利用に必要な支援体制の構築
- ・ 地元が必要と考える実験設備や利用促進体制の取りまとめ、国等への提言

事業内容

- ① **新試験研究炉の利活用促進に向けた情報共有、検討**
 - ・ 既存研究炉等における研究成果や産業利用事例の情報共有、活用策検討 など
- ② **県内企業等による既存研究炉等を活用した中性子利用の推進**
 - ・ 利用相談窓口の設置、既存研究炉等の利用に対する経費補助、実験サポート など
- ③ **新試験研究炉の整備・施設や利用促進体制に関する提言**
 - ・ 新試験研究炉本体や実験装置、関連施設、利用促進体制などに関する要望事項を提言として取りまとめ

研究会の構成

研究会総会

活動計画の策定・実施、規約の改定、要望・提言の取りまとめ

企画検討委員会

研究会の運営等の統括

※講習会のプログラムや総会の議題等について検討

分科会

研究会の特定の課題等について検討

※実験装置ごと、産業分野ごと など、必要に応じて立上げ

本研究会と既存の会議体との連携

- ・コンソーシアム会合等で議論されている設計・検討状況等の情報を研究会の場で共有
- ・地元が必要と考える実験設備や利用支援体制等に関する意見を研究会で取りまとめ、コンソーシアム会合等の場において要望・提言

ふくい新試験研究炉利活用促進研究会

■ 役割

新試験研究炉を利用する地元が主体となり、情報共有、既存炉利活用支援、提言の取りまとめ等を行う。

■ 構成

県、嶺南全市町、研究機関、経済団体、地元企業(約20社)

■ 内容

- ・新試験研究炉の利活用促進に向けた情報共有、検討
- ・県内企業等による既存研究炉等を活用した中性子利用の推進
- ・新試験研究炉の整備や利用促進体制に関する要望、提言

施設・設備・施策に関する地元からの要望・提言

設計・検討状況等の共有

コンソーシアム会合

■ 役割

新試験研究炉を設置する国が主体となり、中核機関(日本原子力研究開発機構・京都大学・福井大学)の整備検討状況について関係者の意見を聴取する。

■ 構成

日本原子力研究開発機構、京都大学、福井大学、福井県、敦賀市、美浜町、研究機関、経済団体、業界団体
地元企業(日華化学、東洋紡)

■ 内容

- ・原子炉等の設計
- ・実験装置の検討
- ・地元関係機関との連携構築

地域関連施策WG

■ 構成

日本原子力研究開発機構、京都大学、福井大学、福井県、敦賀市、美浜町、若狭湾エネルギー研究センター

■ 内容

- ・利用促進体制、複合拠点、人材育成の検討